

 (株)奥村組

環-11

奥村組の水処理技術

私たちの身近にある「水」は、利用目的に応じて「水処理」され、「水質改善」されています。しかし、従来方式の水処理では、導入時コストのほか、薬品費や産業廃棄物処分費等のランニングコストの増大が課題となっています。

奥村組は、水処理技術として、地下水の除鉄技術（日本海水との共同開発）と工場排水のカルシウム除去技術（日本海水、新日本製鐵との共同開発）を保有しています。両技術は、従来方式よりランニングコストを低減し、地球環境に優しいといった特徴があります。



生物接触ろ過方式と晶析法を併用した水処理プラント

担当部署 関西支店 土木営業第1部 担当者 佐々木 剛

Tel 06-6625-3755 Fax 06-6621-1921

生物接触ろ過方式による地下水の除鉄技術

本技術は、鉄バクテリアを増殖させた「ろ材」を用いて水中の鉄分やマンガンを除去するものです。従来の酸化凝集沈殿法と比較すると、使用薬品量が少なく、汚泥発生量も少ないため、ランニングコストの低減を図ることができます。また、地下水に含まれるヒ素等の重金属を除去することもできることから、上水道、農業用水、地下水浄化等の幅広い分野において適用が期待できます。



除鉄プラント

晶析法による工場排水のカルシウム除去技術

本技術は、水中に含まれるカルシウムを炭酸カルシウムに「晶析（結晶化）」させることによってカルシウムを除去するもので、工場排水の処理等に適しています。従来の凝集沈殿法と比較すると、pH調整剤や酸化剤等の使用薬品量が少ないため、ランニングコストの低減を図ることができます。また、晶析により生成されたカルシウムペレットは、有価物として再利用できることが大きな特徴となります。



カルシウムペレット